

事業所における自己評価結果（公表）放課後等デイサービス

公表：令和3年2月15日

事業所：Reはーとえいる

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			子どもの状態に合わせ、「動」の部屋と「静」の部屋と分けている。	
	②	職員の配置数や専門性は適切である	○			有資格者で構成されている。国の基準よりも多く配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している			○		PDCAサイクル自体の考え方やそれを取り入れたミーティングで業務改善に努めていきたいです。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善に繋げている	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			動画研修や伝達講習など一人が学んだ内容を共有している。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化したアセスメントツールを使用している	○			LITALICOの評価ツールを使用している。	
	⑪	活動プログラム立案をチームで行っている	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○			

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○			きめ細かな設定はできていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等サービス計画を作成している	○				
	⑮	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			利用児童が多く、打ち合わせが困難な時は事前に打ち合わせや確認を行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			時間が取れずに当日の振り返りが難しい時は翌日に行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている			○		基本的に学校からの情報はなく、保護者を通じての情報共有となっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				

	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある					
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳でのやりとりや送迎時に会える保護者の方に関しては直接お話をさせて頂いている。	送迎で会えない保護者との共通理解が難しい。相談等が行いやすいツールを考えていく必要がある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている			○	送迎時に話ができる保護者であれば、対応についてのアドバイスや情報の共有を行っている。	今後、充実したい
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			それぞれの職種で行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の関係を支援している	○				回数を増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			えいる通信や子どもの利用状況等のまとめを数ヶ月に1回程度発行している。	個人情報に留意しながらも SNS やブログなどリアルタイムで発信するツールの検討。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意している	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				

37	事務所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業所運営を図っている			○		コロナの影響もあり行事の難しい状況ではある。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員 や保護者に周知している			○	各種マニュアルを策定している。	保護者への周知は不十分。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練を行っている	○			年に1回避難訓練を実施している。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保する等、適切な対応をしている	○				
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや 保護者に事前に十分に説明し了解を得 た上で、放課後等デイサービス計画に記 載している	○				
42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされているか			○		保護者からの情報提供で対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか	○				